



小野谷機工（福井県越前市）が「第37回オートサービスショー2023」で出展し、その後に新発売した製品の一つが自動空気充てん機「エアチャージャーTA-01 r・02 r・03 r」と「TB～LT用セフティーケージTACS spec2」だ。商品開発本部サービス機器開発部部長の吉川真仁さんが解説を担当する。

「エアチャージャー」の新製品  
TA-01r・02r・03rでリニューアルを  
図った点について、吉川さんは「ボタンにふ  
くらみをもたせ、『押し感』をアップさせたこ  
と」だと指摘する。これまでの機器に採用し  
ていたのはフラットタイプのボタン。それだ  
と作業手袋越しの場合、とくにタッチ感が薄  
く、ボタン操作がきらきらとできなかっただ  
ことがあつたようだ。

作の未然防止を図った。そのボタンも直感的に操作できるよう、配列と大きさ、色分けに工夫をこらした。なかでも強制排気の機能を行なう「緊急排気ボタン」は目立つようにひときわ大きく、赤いカラーで、リングとした。瞬時の操作で車内を一掃する。

機器本体の上部に高輝度の「LED警報灯」を配置。使用状況やエラーの充てん状態をし

# 能 力 を ば く に

「L-T-H」で使用する「ハ  
ンクモード」、「LT偏平  
タイヤに高圧充てんす  
る場合の「L-T-H」

TB・LTE用の安全  
域いである「セフティ  
」ケージ TACSS  
spec2」シリーズ  
は、ケージの部分は従  
来機種のまま、搭載す  
る自動空気充てん機を  
「エアチャージャー」  
TA-01r・02r」に  
変更したものだ。  
ケージの左右両サイ  
ドには「プラスチッ  
ルド」という金属製の  
遮蔽板を取り付けた。  
万一のタイヤ破裂時  
に、爆風はケージの上  
部に逃がす構造とし、  
ちぎれたタイヤの破片  
や小石、誘導しきれな  
かつた爆風をシールド

型アームのエアードリルは、人作業時の安全性をさらに向上した。あわせられて作業効率を高め、ピット作業場の省人化・軽労化の実現を図っている」と説明。「多彩な機能をコンパクトな本体に搭載することで作業のつながりを向上させた」、そう続ける。

「安全で、正確な工アームで、人作業はここから始まる」と、吉川さんはその性能に強い自信を示す。

# 整備機器 新商品

小野谷機工(株)

自動空気充てん機  
「エアチャージャー TA-01r」  
&  
TB～LT用  
「セフティーケージ TACS spec2」

品「エクシード イオタプロ」に搭載した自動工ア充てん機「PA-01」と同様の設計思想により、今回の「エアチャージャー」には立体感のあるボタンを採用。誤選

判断が求められる状況  
でも迷わず、間違わずに  
押すことができる。

# 押し感

が可能なので、作業現場や顧客に応じてその場でデータを書き換えることができる。

ス2本の「TA-02」  
で幅480ミリ、ホー  
ス3本の「TA-03」  
で幅665ミリ。高さ  
はいずれも1440ミ  
リ。なお圧力測定範囲  
はいずれも150~1  
200kPa。

準装備する（Sタイプ）。ローラー一台が回転することでタイヤのバルブ位置合わせが容易となる機能だ。「プラス」と「マイナス」の2種類の機能を「ローラー式」「シールド」「ローラー式」「シールド」の4種類で選択可能だ。